



國際經濟週報

新 聞 聯 合 社 發 行

第 九 卷 第 二 十 五 號 昭 和 四 年 一 月 二 十 日 發 行 (No. 468) 大 正 九 年 十 月 九 日 第 三 種 郵 便 認 可

一九二八年の勞働爭議

イギリスに於ける勞資協調運動

生産經濟界の癩瘡たる勞働爭議は、昨一九二八年に於ても世界到處に於て演ぜられた。その最も頻りに起つた國はインドとドイツとである。

インドに於てはボンベイの紡績會社が人員の淘汰、賃銀の低減等の經費節減案を出した爲め一月初め職工一萬餘人が罷業した。この爭議はその後一時解決したかに見えたが、四月に到り再び蒸し返へし、漸次擴大して八十三工場、約十五萬人の職工が罷業するに至り形勢は頗る憂慮すべきものがあつた。然し十月に入つてボンベイ州政府の調停で爭議審査委員會が任命され、これに解決一任といふことになつた。これで表面は落着いたかに見えるが、底流はなほ依然として險惡を極めてゐる。

又インド隨一の製鐵會社タタ製鐵にも六月より九月に亘るロックアウト騒ぎがあつた。この外東部インド鐵道會社や南部鐵道會社にも罷業あり、更にジュート工場にもストライキ等所爭議續出しその都度忌はしい流血の慘事を見た。インドの勞働階級の思想悪化は政治問題と絡んで目下インド全土に穩やかならぬ空氣を漂はせてゐる。

他の勞働爭議が頻發してゐる。これは十月がドイツの雇傭契約改訂期に當る爲め勞働者がこの機會を利用して勞働條件の改善を圖らんとしたによるものである。

この中最も大規模で世人を驚かしたものはルール地方の鐵鋼爭議であつた。會社側は職工の賃銀引上げ要求並に職工側の申出でを支持する仲裁委員の裁定を拒絶し、斯業の盛衰を賭しても戦ふといふ覺悟を以て十一月一日から二十五萬人の職工にロックアウトを斷行したのである。かくて勞資の睚眦は約一ヶ月に及んだが遂に首相ミューラー氏が乗出して解決に當ることとなり繫争問題を政府任命の特別仲裁委員に一任し、その決定に無條件で服従することに話がついた。特別仲裁員たる内相ゼフェリング氏は十二月廿一日年内適用條件とそれ以後適用すべき條件を定めた裁定を與えた。これは會社側に不利益な判定であるが然し異議は申し立てられぬ譯であるから爭議はこれで解決したことになる。

▲ドイツ鐵鋼爭議▼ 一方最近盛に世界市場に活躍し出したドイツでも昨一九二八年の秋、鐵鋼爭議を首め織物職工罷業、造船職工其

かと思ふと七月中旬にはオルダムのラムゼー紡績の罷業に端を發し紡績聯合會加盟會社の紡績工五十萬に對する總ロックアウトが斷行せられんことを恐れた。これは組合に加入せぬ職工を使つたことを不服として起つた罷業であつたが職工側は僱主側の強硬なる態度に脅え該職工の組合加入を條件に罷業を中止し案外あつてなく解決した。

この外共同賃請仕事制度採用を要求して染色工が罷業し又織布工の爭議もあつたが孰れも小火の間に消し止められた。

▲イギリス綿業爭議▼ 次に注目すべきは多年羨しい程の圓滿さを示してゐたイギリス綿業界が珍しくゴタ／＼を續けたことである、即ち年初より勞働時間延長、賃銀引下げ問題で幾度か勞資會議が開かれ一時は大分危ふい瀬戸際まで行つたが漸くこれが事なく済んだ

きはいギリスに於ける勞資協調運動の進展である。この運動の急先鋒はイギリス大資本家の筆頭たるアルフレッド・モンド氏とその盡力の下に昨年一月十二日一般の非常なる期待を受けながら勞資の第一回産業平和會議がロンドンで開かれた。而して第二回(七月二日)の會議に於て中央産業評議會なる協調機關設立が決議された。この勞資協調に對し組合左傾派は猛烈な反對運動をやつたがイギリス勞働界の大勢は漸く協調に傾き如何ともすることが出来ない。この協調運動は新年において更に如何なる發展を示すか、最も刮目して待つべき事柄でなければならぬ。

日貨封鎖計畫

南京反日會は十二月廿四日附て左の如き日貨封鎖條例を發した。

一、明年一月一日から七日までを各商店で自ら日貨を封鎖する期間とし、現有の日貨は總て封鎖し數量を本會に報告せよ。

二、一月八日より十三日までを檢査期間とし、本會執行委員は各學校學生とともに各商店に赴き日貨檢査を行ひ、封鎖せる日貨に本會の封印を附す。日貨の檢査を受けぬものはこれを奸商と看做す。

三、一月十四日より本會は人を派し各所を視察し、日貨賣買の事實を發見すれば貨物を沒收し、その商店の名を發表せしめ責任者を捕へ市中を引廻して懲戒す。

四、日支交渉圓滿に解決せば本會より日貨封鎖を解除の通告をなし賣買を許す。

| | |
|----------------------------|----|
| 一九二八年の勞働爭議 | 五二 |
| ニユーヨーク株式取引所 ゴム證券特別部門を設置 | 五三 |
| コール一割二分に騰貴 | 五三 |
| 十一月中の精銅輸出高 | 五三 |
| 同對日鐵輸出高 | 五三 |
| 新約定による棉花取引 | 五三 |
| 棉花相場引上問題討議 | 五三 |
| 一月限生絲受渡格差決定 | 五三 |
| キニバ航路競争激甚 | 五三 |
| 同上船船院へ抗議提出 | 五三 |
| 砂糖制限撤廢令 | 五三 |
| アメリカ航路の競争 | 五三 |
| 同航路へ更に二社割込 | 五三 |
| 新鋼鐵會社出現 | 五三 |
| ランカンヤ織物會社設立 | 五三 |
| 英支新條約と綿製品 | 五三 |
| 十二月中の棉花取引高 | 五三 |
| ゴム業恩人ダイヤード氏逝去 | 五三 |
| タンク船フランスで建造 | 五三 |
| 佛國—ポール・ルカット號全機 | 五三 |
| 波蘭—商業銀行のクレジット | 五三 |
| ゴリ—オランダより借款 | 五三 |
| 馬來—十一月ゴム在荷高 | 五三 |
| 支那—日貨封鎖計畫 | 五三 |
| 上海關稅增收 | 五三 |
| ニユーヨーク株式市況 | 五三 |
| 外國爲替市況 | 五三 |
| 英米金物市況 | 五三 |
| 世界のゴム界 | 五三 |
| アメリカと生絲市況 | 五三 |
| 世界の小麦市場 | 五三 |

昨年下半期分合本用
總索引目錄
次號附録として贈呈

(本號所掲の電報は昭和三年十二月廿三日より卅一日迄に發信のもの)

(每週一回土曜日發行・毎號十頁)

A4
8

株式及金融

紐育株式市況

本年最後の一週の株式市場は年... 末決済資金の需要による金融引縮りに支配された。然し週初はコー... ル・マネーが九分に騰つたに拘ら... らず株價は一般に騰貴した。この騰... 貴はクリスマスの關係らしく、取... 引は頗る盛んであつた。尤も銅株... はアンコンダ株に靡いて引弛んだ

上海關稅增收

一九二八年度に於ける上海の關稅收入は約三千三百五十萬海關兩に達した。右の額はこれまでのレコードであつた一九二六年に於ける收入よりも八十萬海關兩の増收である。これは二月一日より實施の新稅率の適用を免れんとして茲數週間に大々的輸入を行つたのに一部は起因するものである。

而してアナコンダ株引弛みの原因は廿四日(月)アナコンダ銅山會社が豫期の如く配當率を一株(額面五十ドル)に付年四ドル(八分)から年六ドル即ち一割二分に引上げを發表したのを一段落に利喰ひ賣りが現れた爲めである。 廿八日(金)にはコール・マネーは又復一割二分の高率に暴騰し場外資金の如きは一割四分を唱へた其の結果軟派は諸株賣叩きに努めたが取引所のコールは遂に一割二分を天井として行止り、一割五分

を現出するかも知れぬと云ふ一部の期待は裏切られた。其の結果として諸株は急激に引戻し、最初の下落を取返したのみならず、若干の主力株の如きは却つて著しい反騰を演じた。

證券市場は金利高の影響を受け鈍狀であつた。

ニューヨーク取引所

コム證券特別部門

目下ニューヨーク株式取引所にコム會社の證券を取引する特別部門を設けんとする計畫が進行中である。而してその計畫による先づ試験的にイギリス、オランダその他諸國のコム會社株にして目下ニューヨーク株式取引所及びカール・マーケットに上場されてお

ないものを上場することに於ては、なほ極東方面のコム栽培會社の株も多數上場されることにならう。

倫敦公社債相場

Table with columns for bond types (e.g., 英貨六分利公債), interest rates, and prices. Includes data for various government and municipal bonds.

英蘭銀行週報

Table showing financial data for the Bank of England and Bank of the Netherlands, including assets, liabilities, and reserves.

一割二分に暴騰

年末決済の關係でニューヨークのコール・マネーは最近著しく引縮りを呈してゐたが、廿八日に至り株式取引所内のコールは又復一割二分、場外に於ける資金の如きは一割四分といふ高率に暴騰したこの結果軟派は諸株に對し一齊に賣り叩きを演じた。然し一部で一割五分を豫期してゐたに拘らず取引所のコールが遂に一割二分以上に騰貴しなかつたので、その後諸株は急激に引戻し、最初の下落を回復したのみならず中には著しく反騰したのものもある。

ニューゴースラヴィア

オランダより借款か

為替及銀塊

倫敦銀塊市況

英國金銀塊輸出入額

Table showing gold and silver block trade statistics for the UK, including monthly and annual figures.

桑港より銀塊積出高

Table showing silver block export statistics from Hong Kong.

印度通貨週報

Table showing Indian currency weekly reports, including exchange rates and government securities.

上海銀塊在荷高

Table showing the amount of silver blocks held in Shanghai.

ポーランド商業銀行 農家貸付クレジット設定

為替及銀塊 倫敦銀塊市況

英國金銀塊輸出入額

桑港より銀塊積出高

印度通貨週報

上海銀塊在荷高

Table with exchange rates and financial data for various currencies and markets.

Table with exchange rates and financial data for various currencies and markets.

Table with exchange rates and financial data for various currencies and markets.

Table with exchange rates and financial data for various currencies and markets.

Table with exchange rates and financial data for various currencies and markets.

Table with exchange rates and financial data for various currencies and markets.

Table with exchange rates and financial data for various currencies and markets.

Table with exchange rates and financial data for various currencies and markets.

Table with exchange rates and financial data for various currencies and markets.

Table with exchange rates and financial data for various currencies and markets.

Table with exchange rates and financial data for various currencies and markets.

Table with exchange rates and financial data for various currencies and markets.

昭和三年十二月廿三日 卅一日發信

場相物金

Table of gold and silver prices. Columns include dates (十二月廿四日, 廿五日, etc.), locations (倫敦, 孟買, 上海, 香港, 新嘉坡, 爪哇, 暹羅), and various types of gold/silver (現物, 先物, 買手, 賣手). Includes sub-sections for '銅氣電育紐' and 'ルーボガンシ'.

場相替爲國外

Table of international exchange rates. Columns include dates (十二月廿四日, 廿五日, etc.), locations (倫敦, 孟買, 上海, 香港, 新嘉坡, 爪哇, 暹羅), and various types of exchange (現物, 先物, 買手, 賣手). Includes sub-sections for '陸大歐' and '替爲濱橫'.

場相債社公

Table of public company bond prices. Columns include dates (十二月廿四日, 廿五日, etc.), locations (倫敦, 孟買, 上海, 香港, 新嘉坡, 爪哇, 暹羅), and various types of bonds (現物, 先物, 買手, 賣手). Includes sub-sections for '塊金海上' and '替爲濱橫'.

場相式株

Table of stock prices. Columns include dates (十二月廿四日, 廿五日, etc.), locations (倫敦, 孟買, 上海, 香港, 新嘉坡, 爪哇, 暹羅), and various types of stocks (現物, 先物, 買手, 賣手). Includes sub-sections for '利金' and '倫敦'.

(昭和三年十二月廿三日) 卅一日發信

○ランカシア織物會社 近く設立か

對銀行交渉解決す
ランカシア織物會社(Lancashire Textile Corporation)の組織計畫は最近ロンドンの一部銀行の態度が思はしくないところから一時行橋んでゐたが本日のデイリー・テレグラフ新聞によれば綿糸同盟會々長タッターソール氏は左の如く述べた。

『右銀行に對する難交渉も今や總ての關係者にとり満足に行くやうに解決された。目下の所確定的なことを述べるは極めて困難であるが、ランカシア織物會社は來年早々には設立登記を済まして營業開始の運びに至るであらう。』

○英支新關稅條約とイギリス綿製品影響

十二月廿七日發表された英支新關稅條約に關し、イギリス綿業界の權威サー・ケンネス・スチュワート(Sir Kenneth Stewart)氏は新聞聯合社通信員に對し左の如く語つた。

『余の考へるところでは新條約の直接影響は明に良好と思はれる。新關稅々率中には現行稅率より高いものもあるが、しかしランカシア綿業には恐らく何等の損害をも及ぼすまい。』

○十二月中の棉花引取高

リヴァプール 十二月廿一日(月)
昨年十二月中のイギリス紡織棉花引取高は

| 品名 | 今季 | 前年 | 前々 |
|-------|-----|-----|-----|
| アメリカ棉 | 一七〇 | 一七三 | 一七三 |
| エジプト棉 | 一五〇 | 一五二 | 一五二 |
| インド棉 | 二〇〇 | 二〇〇 | 二〇〇 |
| 其他 | 二〇〇 | 二〇〇 | 二〇〇 |
| 合計 | 七二〇 | 七二五 | 七二五 |

○埃及棉花統計

| 品名 | 今年 | 前年 |
|--------|-------|-------|
| 入荷高 | 五、四一九 | 五、八八八 |
| 輸出高 | 三、三〇三 | 三、六四九 |
| 最近數週統計 | 三、五五五 | 三、〇〇〇 |
| 入荷高 | 二、九 | 二、六 |
| 輸出高 | 二、六 | 二、四 |
| 最近數週統計 | 二、七 | 二、五 |

○孟買棉花統計

| 品名 | 今年 | 前年 |
|--------|-----|-----|
| 入荷高 | 六、七 | 六、〇 |
| 輸出高 | 三、三 | 三、七 |
| 最近數週統計 | 三、三 | 三、七 |
| 入荷高 | 一、〇 | 一、〇 |
| 輸出高 | 一、〇 | 一、〇 |
| 最近數週統計 | 一、〇 | 一、〇 |

孟買綿絲布相場

| | | |
|-----------|---------------|-------|
| 十二月廿九日(土) | 晒金巾一五〇〇番ライアマン | 一八留比 |
| | 生金巾二〇〇番アアリ | 九留比 |
| | 粗布三〇〇ヤード龍C | 八留比 |
| | 二〇〇手綿絲 | 一三アナン |
| | 一〇〇手綿絲 | 一〇アナン |

上海綿絲相場

| | | |
|-----------|-------|-------|
| 十二月廿四日(月) | 十二月限 | 五月限 |
| 廿五日(火) | 一六兩六分 | 一五兩七分 |
| 廿六日(水) | 一六兩二分 | 一五兩九分 |
| 廿七日(木) | 一六兩五分 | 一六兩二分 |
| 廿八日(金) | 一六兩二分 | 一五兩七分 |
| 廿九日(土) | 一六兩二分 | 一五兩六分 |

生絲

米國生糸市況

今週の市況は一段と開散であつた。これは主としてクリスマス休日があつたのと同様の需要が減少したためである。尤も底意は可成り手堅い。月半ば以來日本糸二十一中物の需要が目立つて増えて来たが、これは絹織會社が或る種の織物製造には十五中物と同様好適であるを看做してゐるためである。

生糸取引所に於ける商内は極めて少く休日氣分で開散であつた。絹製品 來年初めに於ける市況の見込みは有望である。

一月限生糸受渡格差
ニューヨーク 十二月廿九日(土)
ナショナル生糸取引所は來年一月限の受渡し格差を左の如く決定發表した。

倫敦生絲相場

| | | |
|-------------------|-------|-------|
| 一、受渡標準品たるD級品より格上げ | 十二月限 | 一月限 |
| A級品 | 六〇セント | 七〇セント |
| B級品 | 二五 | 三〇 |
| C級品 | 一〇 | 一〇 |
| D級品 | 一〇 | 一〇 |
| E級品 | 一〇 | 一〇 |
| F級品 | 一〇 | 一〇 |

英國羊毛市況

| | |
|--------------------|---------------------------------------|
| アランドフォード 十二月廿八日(金) | 今週のトップ及び梳毛糸相場は左の通りで、トップのメリノ六四番だけが小高い。 |
| メリノ七〇番(アペレラ) | 五〇片 |
| 同 六四番(同) | 四六片 |
| 同 六〇番(同) | 四二片 |
| 同 五五番(同) | 三八片 |
| 同 五〇番(同) | 三四片 |

羊

十二月廿七日(木) 三月廿日 廿八日 廿九日

日本糸(十四中) 二五法 二五法
支那糸(モエール) 二五法 二五法
支那糸(エキストラ) 二五法 二五法
支那糸(良一番十五中) 二五法 二五法
支那機械織(三A太陽鷲印) 二五法 二五法
支那機械織(十三中) 二五法 二五法

倫敦油脂相場

| | | |
|-----------|-------------------|----|
| 十二月廿八日(金) | 大豆油東洋品ブルク積(百十二封度) | 三志 |
| | 一、二月積賣手 | 三志 |
| | 三志 | 三志 |
| | 三志 | 三志 |

紐育植物油相場

| | | |
|-----------|-------------|------|
| 十二月廿六日(水) | 亞麻仁油(粗製、紐育) | 一ガロン |
| | 菜種油(精製、樽入) | 六仙 |
| | 菜種油(粗製、樽入) | 六仙 |
| | 棉實油(同) | 一封度 |
| | 同上(タンク) | 八仙 |
| | 大豆油(同) | 二〇仙 |
| | 落花生油(同) | 二〇仙 |
| | 椰子油(錫製) | 八仙 |
| | 支那桐油(樽入、太平) | 一三仙 |
| | 支那桐油(洋岸甲板) | 一三仙 |
| | 荏油(同) | 一五仙 |
| | 蓖麻子油(第三號樽入) | 一三仙 |
| | 蓖麻子油(純育甲板) | 一三仙 |

大連二品出來高

| | | |
|-----------|----|----|
| 十二月廿四日(月) | 大豆 | 二五 |
| 廿五日(火) | 大豆 | 二五 |
| 廿六日(水) | 大豆 | 二五 |

油脂

| | | |
|-----------|-------------------|----|
| 十二月廿八日(金) | 大豆油東洋品ブルク積(百十二封度) | 三志 |
| | 一、二月積賣手 | 三志 |
| | 三志 | 三志 |
| | 三志 | 三志 |

倫敦油脂相場

| | | |
|-----------|-------------------|-------|
| 十二月廿七日(木) | 大豆油東洋品ブルク積(百十二封度) | 三志 |
| 廿八日(金) | 同上 | 二磅 八分 |
| 廿九日(土) | 同上 | 二磅 八分 |
| 一月限 | 同上 | 二磅 八分 |
| 二月限 | 同上 | 二磅 八分 |

小麥

米國小麥市況
シカゴ 十二月廿九日(土)

本年最後の一週に於けるシカゴ小麥市場は十二月限のマハラ手仕舞ひに引込みを呈した、冬小麥産地の濕潤状態は良好とみられるが降雪はなほ未だ十分ではないらしい。特に西南部地方に於いて然りである。

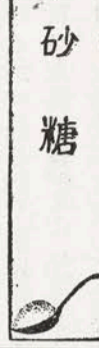
輸出需要は極めて少く、南半球よりの情報は頗る弱氣的で、某民間業者はアルゼンチンの輸出餘力を約二億四千萬ブツセルと見積つてゐる。一方アメリカにも目下なほ一億九千萬ブツセル近くの小麥が輸出用として残存してゐる。従つてアメリカ小麥はアルゼンチンの強力なる競争を受けるものと氣構えられる。しかしヨーロッパの小麥供給は平均して過去數年來の最少額らしい。

上海穀相場

| | |
|-----------|---------|
| (現物、一擔建) | |
| 十二月廿四日(月) | 賣手 二兩五匁 |
| 廿五日(火) | 休 |
| 廿六日(水) | 休 |
| 廿七日(木) | 賣手 二兩五匁 |
| 廿八日(金) | 同 二兩五匁 |
| 廿九日(土) | 同 二兩五匁 |
| 卅一日(月) | 同 二兩五匁 |

外國米相場

| | |
|-----------------|----------|
| ラングーン 十二月廿四日(月) | |
| △ラングーン米(〇品一擔建) | |
| 同 十二月積古米(〇品一擔建) | |
| 同 一月積新米(〇品一擔建) | |
| 對日爲替(電信銀行買百圓に付) | 二六ルーピー四三 |



米國砂糖市況

△粗糖 今週の相場は下落歩調を示した。これは新糖がそろく動き始めたのでこの影響如何を眺めて當業者が差當つての必要品以外には買はうとはしなかつた爲めである。又キューバの砂糖制限問題に就て不安があつたことも新糖の買氣を阻んだ一因であつた。

所が廿八日朝キューバから大統領マカド氏は愈々(一)砂糖制限撤廢及び(二)砂糖販賣に當つては今後輸出會社の手を經るを要せず、この二項を規定する大統領令に署名したとの報道が達した。この結果砂糖相場は一時下落したが、有力な當業者達は右制限撤廢により却つて市況は今後健實になるものと信じてゐる。

今週の市中取引出來高はキューバ舊糖二十八萬袋、フイリツピン

新糖七萬袋、合計三十七萬八千袋である。

△精製糖 引合ひは見直した。然し乍ら需要は引續き當用品に限られてゐる。なほ目下の精製糖會社賣り値は一封度に付き五セント二五で引續き保合つてゐる。

○キューバ糖制限撤廢令

キューバ大統領は本日砂糖制限撤廢の大統領令を出した。その要點は左の通りである。

一、甘蔗の栽培、採收及び製糖に關する制限を撤廢する。

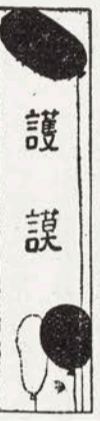
二、輸出業者は輸出委員の監督を經ずして自由に外國へ販賣することを得。

△ニューヨーク市況

△砂糖相場は本日キューバ砂糖制限撤廢の報を入れて幾分引弛みを呈した。しかし權威ある當業者の意見によると制限撤廢により市況は今後却つて健實になるであらう。

○玖馬砂糖統計

| | |
|-------------------|-------------|
| ニューヨーク 十二月廿八日(金) | |
| ウキレットグレー商會十二月廿二日調 | |
| △新糖 | |
| 作業中工場 | 高 四、〇七六噸 |
| 生産 | 高 四、〇七六噸 |
| 輸出 | 高 三、八三三噸 |
| 在庫 | 高 三、八三三噸 |
| △舊糖 | |
| 輸出 | 高 三、七六八噸 |
| 在庫 | 高 三、七六八噸 |
| 輸出港在荷高 | 一、〇〇〇噸 |
| △最近數週統計(單位百噸) | |
| 十二月八日 | 生産 高 六、三三三噸 |
| | 輸出 高 六、三三三噸 |
| | 在庫 高 六、三三三噸 |



○英國護謨統計

| | | | |
|-----|------|-----|-----|
| 十五日 | 一、四 | 六、二 | 六、六 |
| 廿二日 | 一、一 | 五、三 | 一、五 |
| 前週 | 一九二八 | 二、七 | 二、七 |
| 入荷高 | 二、八 | 八、〇 | 二、三 |
| 引取高 | 一、六 | 三、四 | 六、九 |
| 在荷高 | 一、二 | 四、六 | 三、七 |
| 入荷高 | 一、〇 | 二、三 | 三、三 |
| 引取高 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 |
| 在荷高 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 |

○ゴム栽培事業の恩人

ダイヤード氏逝去

イギリス知名の植物學者サー・ウイリアム・シストルトン・ダイヤード氏は八十五歳の高齡で死去した。氏はゴム栽培事業の研究に造詣深く東インド及びシンガポール方面に今日の如く盛大なるゴム事業の發展をみたのは一に氏のゴム樹研究の賜である。英領マレー並に東インドに於けるゴム栽培の基礎は氏によつて確立されたものといふも過言でない。

○マレー十一月末ゴム在荷

| | |
|------------------|------|
| シンガポール 十二月廿九日(木) | |
| △賣出 高 | 七、九噸 |
| △賣上 高 | 五、九噸 |
| △賣相(最高値、一封印に付) | 五、九噸 |
| △賣相(最低値、一封印に付) | 五、九噸 |
| △賣相(平均値) | 五、九噸 |
| △賣相(最高値、一封印に付) | 五、九噸 |
| △賣相(最低値、一封印に付) | 五、九噸 |
| △賣相(平均値) | 五、九噸 |

○マレー十一月末

| | |
|---------------------|---------------------|
| 十一月末 | 十月末 |
| マレー聯邦及 | マレー聯邦及 |
| 聯邦外諸州 | 聯邦外諸州 |
| 海峽植民地 | 海峽植民地 |
| △印はケダ、カラマンタン及びトレンガヌ | △印はケダ、カラマンタン及びトレンガヌ |

新嘉坡護謨成績

| | |
|------------------|------|
| シンガポール 十二月廿九日(木) | |
| △賣出 高 | 七、九噸 |
| △賣上 高 | 五、九噸 |
| △賣相(最高値、一封印に付) | 五、九噸 |
| △賣相(最低値、一封印に付) | 五、九噸 |
| △賣相(平均値) | 五、九噸 |

○マレー十一月末

十一月末に於けるマレー聯邦及びジョホール州のゴム在荷は四萬七千五百八十六トンと發表された。ジョホール州を除く聯邦外諸州、即ちケダ、カラマンタン及びトレンガヌ州の在荷はまだ發表されな

○マレー十一月末

なつてキューバ航路に大競争を始めてゐるが今回更に新に二つの汽船會社が割込む事となり、競争は益々白熱化するものと思はれる。

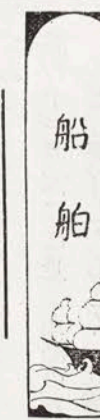
二汽船會社はフランス汽船とレツド・スター汽船で前者は來年一月より汽船二隻をニューヨーク、ハヴァナ線に配船せんと計畫中であり、又後者はペンランド號(一六三二二トン)をニューヨーク、ハヴァナ、西インド線に就航せしめんと目論んでゐる。但しこの二汽船會社が運賃二割五分引をしてゐるワイド・ラインと同様の値引きをするか否かは目下のところ不明である。

○フランス汽船の全焼

本日當地で一萬五千トンのタンク船ミーゲン號(Megane)が進水された。同船はフランスで建造された最初のイギリス船である。

英國海運市況

| | |
|-------------------|-------------------|
| ロンドン 十二月廿八日(金) | |
| △ロンドン成約運賃 | |
| サンロレンシア(イギリス、歐大陸) | 雜穀 五、〇噸 二三月積 二、四三 |
| ロザリオ(同上) | 同 五、〇噸 二三月積 二、四三 |
| 同 | 同 五、〇噸 二三月積 二、四三 |
| 同 | 同 五、〇噸 二三月積 二、四三 |
| 同 | 同 五、〇噸 二三月積 二、四三 |
| 同 | 同 五、〇噸 二三月積 二、四三 |
| 同 | 同 五、〇噸 二三月積 二、四三 |
| 同 | 同 五、〇噸 二三月積 二、四三 |
| 同 | 同 五、〇噸 二三月積 二、四三 |



英國海運市況

最近のロンドン海運市況は閑散ながら運賃相場は頗る手堅い。

○イギリス汽船

フランスで建造される

本日當地で一萬五千トンのタンク船ミーゲン號(Megane)が進水された。同船はフランスで建造された最初のイギリス船である。

○イギリス汽船

フランスで建造される

本日當地で一萬五千トンのタンク船ミーゲン號(Megane)が進水された。同船はフランスで建造された最初のイギリス船である。

一九二八年の 國際經濟界回顧

株式

準備銀行躍起となる。
 ニューヨーク株式市場は、素晴しい前景氣で一九二八年を迎えた。そして其の後の人氣もまた大したものであつた。左に過去一ケ年のフィルムを巻きかへして今一度急回轉で好いシーンだけを映寫してみよう。

◆先づ年初に巨頭連の財界樂觀序曲がきこえる。最初は取引所の場でスクリーン一面主役のブルが活躍してゐる。前年から持越した思惑熱に浮かされた彼等が威勢よく買ひ煽る。株價は鰻上りに騰つてゆく。此の調子は其後もずっと續き年半ばの六月に入る。時偶々共和黨全國大會の成行き懸念と一部株式の賣叩きに隨いてブル勢の足並が亂れるが、然し瞬く間に盛り返して買ひ人氣は彌が上に昂まる。

◆スクリーンの場面は變つてワキ役のニューヨーク準備銀行が頭痛鉢巻の態よろしく現れる。投機熱を放任して置いては危険と見て手持ち公債の賣り放ち其他によつて投機資金引上げに努める。がしかし一向埒があかぬ。遂に二月、五月、六月の三回にわたつて利上げを行ひ年初の三分半を五分まで引上げたが更に功驗は見えぬ。其の間個人投資家や大工業會社が旺に資金をウォール街へ注ぎ込む。どうも準備銀行の睨みがきかない。市場統制力を失つたのではないか

◆次の場面はフィラデルフィアの全國銀行大會、時は十月初旬である。下院銀行通貨委員長マクファデン氏が憂色深く「警告」の口火を切つて、「思惑熱昂まるに従ひ株式仲買人買付高が無制限に増加するは憂慮にたえぬ。若し斯かる傾向が續くならば、將來不本意乍らも或は仲買人貸付高に對し準銀當局の監督を要するやも知れず」と脅す。之れを聞いたブル勢一齊に色を失ひ次に壇上に立つ聯邦準備局總裁ヤング氏の言葉如何にぞ片唾を呑む。然るにヤング氏は意外にも此の點を軽い警告を以てアツさりぞ片附けたのでブル連安堵。

◆その次は十一月四日のウォール街——十ヶ月に亘る激烈な選舉戰の後に共和黨のフーズァーが民主黨のスムースに大勝した日である。愈々フーズァーの信條たる「アメリカの繁榮」が物を言ふ時が来た。株はまだまだ騰るぞとばかりに狂喜其極に達したブル勢が目の色を變へ取引所に馳け寄る様は物凄く。

◆再び取引所の場である。フーズァー・ブームに酔うた思惑屋の遮二無二買ひ進む様は寧ろ凄慘を極め場面に殺氣が漲る。一日の出来高六百六十萬株、チッカーの遅延が二時間、新高値に躍進した株が百餘種と正に取引所未曾有の新記録時代である。中にもラヂオ株の

奔騰華々しく一日に四十ドル、五十ドルと跳ね上つて四百二十ドル(二月に比べて五倍)まで行く。ケース投機株も一陽來復四百ドル(四年前は僅々十四ドル)を唱える。フーズァー・ブラザース映畫株も本年になつてから六倍の猛騰振りを示す。其他モントゴメリー・ワード(通信販賣並に連鎖式百貨店)ゼネラル・モーターズやクライスラー等の自動車株、ライト飛行機等新しい時代を思はせる株が破天荒の暴騰を演ずる。之れに對しステールやアナコンダの動きは割合に地味である。

◆替爲
 日本金の解禁は結局聲ばかりで遂に一九二八年も之れが實現をみずして暮れた。その間に於て他國では着々と通貨を安定し

金輸出を解禁して國際經濟の常道に歸つてゆく。
 ▲金本位復歸▼ 先づ五月一日ノールウェーが金本位に復歸したのを手始めに、同十二日にはギリシヤの之れに倣ひ、續いて六月廿五日にはフランスも多年の懸案を解決して金に歸つた。右の外ユーゴスラビヤ、ブルガリア、スペイン、ブラジル、ペルー、アルゼンチン其他の南米諸國も亦金の取寄せ、クレデットの設定、公債の發行等萬全の策を用ひて只管金本位復歸或は之れが樹立を急いでゐる。斯く世界幣制立直しといふ點に於て一九二八年は相當意義深い年といひ得るが、これと同時に日本たるもの少からず焦燥を感ぜざるを得ない。

▲米日爲替▼ そこで一九二八年の米國爲替を通觀するに次の如き變動の跡が見られる。
 (對日電信百圓に付)
 一月三日 四六・四六分十三
 三月二十七日 四八・——
 五月九日 四五・四分三
 八月十六日 四四・四分一
 十月二十四日 四六・四分一
 十一月二十三日 四七・四分一
 十二月三十日 四七・四分一
 十二月三十一日 四七・四分一
 十二月三十一日 四七・四分一

即ち年初大體四十七ドル見當に保合つたものが三月末には四十八ドルに急騰した。これは日本の貿易状態が割合に良かった所へ東電の外債一億ドルが成立した爲めである。其の結果又も金解禁問題が蒸返して來た。然るに五月初め濟南事件勃發と共に日支關係の紛糾と排日貨懸念に九日には大暴落となつた。その後七月には(一)ア

メリカ準銀の利上げが續出したこと(二)日本の貿易が思はしくないこと(三)支那の通商條約廢棄問題等のため漸次弛みを見せ八月に入つて一時四十四ドル十六分十一迄引落した。然し八月下旬三土藏相が「日銀が統制力を回復し、支那問題も一段落が着き、爲替が或る點まで見直したならば金を解禁してもいい」とほのめかしたところから忽ち急反撥を演じ、爲替市場も商品市場も大まごつきをやつた。

一方金解禁即時斷行を要望する聲が漸次大きくなつて來た。爲替もこれに漸騰し、十月下旬東西手形交換所が正式に金解禁即行決議を行つた直後は右表の如く跳上つた。然るに政府の態度は再び曖昧となつたので之れに對する海外の注意の度も減じ、十一月十日藏相が關西銀行大會で謎のやうな話をした翌日の米日は皮肉にも半ポイント高を示した。十一月末矢田、王正廷外交の失敗やら米棉輸入の激増やらで再び下押し、不味の裡に越年することとなつた。

▲米英爲替▼ 次に米英爲替を一瞥する。一九二八年々頭の四ドル八十八セント八分一が二月になつて一セント方低落したのは一月廿四日シカゴ準銀を皮切りにアメリカ準銀が一齊に金利を引上げた關係である。三、四月は大した變動なし。五月末に四ドル八十八セント十六分七迄急騰したのはアメリカから約二千萬ドルの金がイギリス向けに積出された爲めである。此の金はイギリスが例の紙幣統一實施の爲に金準備の一部に充てる

ものだこの噂であつた。引續いて六月初め更に一千萬ドルの金現送があつた。七月に入つて急落、底値四ドル八十五セント四分一となり、其の後八、九、十月を通じて軟調裡に推移した。殊に九月初めには四ドル八十五セント八分一を唱へて當時の現送點(四ドル八十四セント五乃至四ドル八十五セント二)に肉薄し、一九二七年九月以來滔々としてイギリスへ流出した金が再びアメリカへ逆流するものと思はれた。果して其の通り十月初め四ドル八十四セント八分一七迄現送點に達するや旺んに金がアメリカへ歸つて行つた。斯くポンドが軟化した原因は次の通りである。

一、アメリカが金利高であること
 即ちニューヨーク準備銀行の前後三回に亘る利上げによつて公定割引率は五分となり、コールも屢々八分を突破した、にも拘らず年初以來アメリカからフランス其他歐洲諸國、南米等へさかんに金が流出したのでアメリカも必然的に高金利政策を維持せねばならなかつた。一方イギリスでは産業保護の論議喧しく其間利上げ困難なる事情があつたこと。

二、秋期はイギリスがアメリカより多量の穀物や棉花等の手當てを行ふ時期であること
 然し十一月末には是等商品の買入れも略ぼ終了したらしく、其後引續いて底堅い所を見せてゐる。

三、四月は大した變動なし。五月末に四ドル八十八セント十六分七迄急騰したのはアメリカから約二千萬ドルの金がイギリス向けに積出された爲めである。此の金はイギリスが例の紙幣統一實施の爲に金準備の一部に充てる

ものだこの噂であつた。引續いて六月初め更に一千萬ドルの金現送があつた。七月に入つて急落、底値四ドル八十五セント四分一となり、其の後八、九、十月を通じて軟調裡に推移した。殊に九月初めには四ドル八十五セント八分一を唱へて當時の現送點(四ドル八十四セント五乃至四ドル八十五セント二)に肉薄し、一九二七年九月以來滔々としてイギリスへ流出した金が再びアメリカへ逆流するものと思はれた。果して其の通り十月初め四ドル八十四セント八分一七迄現送點に達するや旺んに金がアメリカへ歸つて行つた。斯くポンドが軟化した原因は次の通りである。

一、アメリカが金利高であること
 即ちニューヨーク準備銀行の前後三回に亘る利上げによつて公定割引率は五分となり、コールも屢々八分を突破した、にも拘らず年初以來アメリカからフランス其他歐洲諸國、南米等へさかんに金が流出したのでアメリカも必然的に高金利政策を維持せねばならなかつた。一方イギリスでは産業保護の論議喧しく其間利上げ困難なる事情があつたこと。

物 金

▲鐵鋼界▼

一九二八年の世界鐵鋼界は概して好調を示した。イギリスの相場に就いていへば鋼鐵は五十五シル

(クリーヴランド・スクラップ・ヘビー・スチール)に初まり、四五月頃には五十七シル半に騰貴した。その後一時夏枯れて五十五シルまで下落したが秋口より再び昂騰し年末には五十八シル半を示してゐる。この直接の原因はドイツの鐵鋼争議、造船界の見直し等であるが、イギリス地方税の引下げ、ヨーロッパ製鋼カルテルの生産協定等が市場に好感を與えてゐることも見逃がせない。

◆一九二八年のヨーロッパ鐵鋼界に於て特記すべきはフランスの進出である。ヨーロッパ製鋼カルテル(ドイツ、フランス、ベルギールクセンブルグ、ザールの鋼鐵業者より成る)組織第一年度、即ち一九二六年九月乃至一九二七年八月の期間に於てはフランスの生産は振はず、割當額よりも七十萬ト近く少なかった。之れに反しドイツは割當額より三百四十萬トンの増産を行ひ七百萬ドル以上の罰金を拂つたのであるが最近に於ては兩者の位置は轉倒し、フランスの方が多額の生産を行ひ割當超過の罰金を拂ひつゝある有様である而してフランスは左表によつて瞭然たる如く今や世界第一の鐵鋼輸出國となつた。

(アナリスト誌十二月號による、單位千トン) 現在の率 戦前の率

| | | |
|------|-------|-------|
| フランス | 五二・五〇 | 三〇・〇〇 |
|------|-------|-------|

| ベルギー | ドイツ | イギリス | アメリカ |
|-------|-------|-------|-------|
| 四、五〇〇 | 七、〇〇〇 | 五、〇〇〇 | 二、〇〇〇 |
| 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 |

◆アメリカの鐵鋼生産額は世界總産額の約半ばを占めてゐるが輸出額は極めて少く生産額の五分にも達しない。蓋しアメリカの内地消費市場が尨大で且つ關稅によつて保護されてゐる爲め鐵鋼業者はこれまで輸出に餘り注意を拂はなかつたのである。然しアメリカ鐵鋼業者も最近に至り輸出促進の必要を認め、且つはアメリカの生産費がヨーロッパ大陸に比し高い所より、一九二八年六月鐵鋼輸出組合を組織して外國品の競争に對抗することになつた。この組合はウェツプ・ポメリーン法によつて出來た一種の輸出トラストで、南米及び極東市場の獲得が主たる目的である。尙この組合に就て特記すべきは從來競争相手であつたユー・エス・スチール會社と、ベスレ・ヘム・スチール會社が共に加入してゐることである。

◆一九二八年のアメリカ鐵鋼相場は大體イギリスと同様の歩調をとつた。即ち左の通りである。

| 一月三日 | 四月一日 | 七月二日 | 九月一日 | 十二月二十日 |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 |
| 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 |
| 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 |

▲其他金物▼

◆一九二八年の金物界は銅を例外として引續き低落歩調を辿つた。即ち錫は一九二五年來の安値、鉛及び亞鉛は一九二一年來の安値を示し、之れに反し銅は一九二三年來の高値に達した。然し乍らこれは今まで錫、鉛、亞鉛等が割合に高く、銅が安かつた結果だとも云へる。即ち現在のアメリカ銅賣物價指數は一五〇(一九一三年を一〇〇として)見當を示して居るが銅の指數は最近の高値を以てして尙ほ一〇〇見當で、下落した錫鉛及び亞鉛よりもまだ安い。即ち一九一三年に三封度四九の鉛、二封度七五の亞鉛に相當して居た一五の銅相場が現在では二封度三五の鉛、二封度四四の亞鉛にしか相當しない。又戦前一封度の銅は一封度の棉花に相當してゐたが、現在では四分の三封度の棉花にしか相當しないのである。

▲銅▼

然し乍ら右は過去に比較しての話、兎に角一九二八年各種金物中最も有封に入つたのは矢張り銅である。一九二七年夏十三セント(ニューヨーク電氣銅一封度相場)の臺割れを演じた銅が一九二八年は十四セント七五に初まり漸次騰貴し最近には十六セントと云ふ過去五ヶ年間の高値に達してゐる。相場騰貴の原因は需給關係の改善、即ち消費増加に伴ふ在荷見逃がしてならぬ點はこの需給改善、相場安定に就て當業者が組織的に協力し來つたことである。銅相場は大戦後非常な供給過多のため低落した。この結果アメリカの當業者は先づ需給關係を明瞭ならしめる必要ありとし一九一九年アメリカ金物統計局を作つて統計を完備した。一九二三年には銅

及眞鍮調査協會を設立して銅の使用研究及び宣傳を始め、一九二六年には銅生産者でも消費者でもないロンドン金物取引所の思惑によつて銅相場があやつられてゐるのを遺憾とし銅輸出組合を設立して輸出相場の安定を計つた。更に一九二七年には銅協會を設立して生産、販賣、價格等全般に亘る調査研究をなし斯業の指導發展に當らしめることにしたのである。

▲錫▼

錫は銅と全く反對のコースをたどつた。一九二七年秋期以來下落歩調を示してゐた錫は一九二八年には二百六十五ポンド見當に初まり七月には二百五ポンドと云ふ過去四ヶ年間の安値に落ち込んだ。この原因は生産増加に伴ふ在荷増加及びニューヨーク株式暴落に伴ふ思惑筋の利喰賣逃げにある。然し其後相場は大分引戻し最近には二百二十五ポンド見當を示してゐる。回復の主因は自動車工業發展に伴ふ錫の需要増加にある。

▲鉛▼

鉛は年初の二十二ポンド十六分七(ロンドン現物一トンは十九ポンド八分の三)云ふ一九二一年の安値に落ち込んだが、其の後引戻して九、十月中は廿二ポンド前後を示した。而して最近には廿一ポンド半見當になつてゐる。しかしながら一九二八年の鉛界は大體に於て平穩で、只この間は九月十月に亘つて産地オーストラリアに波止場人夫罷業があり多少相場に影響を及ぼしたがこれも大したものはなかつた。

▲亞鉛▼

亞鉛は二十六ポンド半見當(ロンドン現物一トンは廿三ポンド十六分の十三)を底値とし其後急速に見直し最近には廿七ポンド近くを示してゐる。急騰の原因はフランス、ベルギー、イギリス、ドイツ、シレジア等より成るヨーロッパ亞鉛カルテルが他の生産國をも勧誘して生産調節を行ふことを決議した爲めである。

▲ゴム

一九二八年のゴム界は英領ゴム輸出制限撤廢問題で終始した。世界ゴム市場は一九二七年秋以來大に回復歩調をたどり好望裡に迎春したが一月下旬に至つて再び低落歩調に轉じた。而して二月八日イギリス首相ポールドウイン氏が過去六ヶ年實施し來つたゴム制限法の効果に就て法制審議會に調査を命ずるや相場は俄然大崩落となつた。これは右審議會が豫め必ずや制限撤廢を建議すべしと見られた結果である。法制審議會は豫想の如く制限撤廢を建議し四月四日政府はこれを聲明した。實際に撤廢されたのは年度變りの十一月一日からであるが、兎に角之れが爲め相場は又復さか落しを演じ右の如く一月初めの半値以下に迄落込んだ。

| 十一月一日 | 前年 |
|-------|-------|
| 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 |
| 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 |
| 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 |

◆其の後相場は幾分引戻したが制限開けに於ける産地の積出し激増懸念により著しき反撥もなく、十七セントから二十セントの間を低迷して居た。而してゴム制限は愈々十一月一日を以て撤廢されたが然し市場は既に書入れ済みのことゝ著しき變動もなかつた。又懸念された産地の滞荷處分問題も現在では餘り懸念を要さなくなつた。それは左表によつて窺はれる如く埠頭及び消費地の在荷が最近著しく減少し、これを普通程度迄に増加する爲には産地の滞荷を全部必要とするからである。

◆前表の如く消費地の在荷が斯く激減した理由は制限撤廢の爲め買付が極度に差控えられて居たのもその一因であるが、相場下落、自動車工業發展等に伴ふアメリカ其他に於ける消費激増が大いなる原因をなしてゐる。例へばアメリカに於ける最近のゴム消費高は毎月三萬七千トンから四萬三千トンの間を往來し一九二七年に比し毎月一萬トンを上り多し。而して一九二八年初めの豫想ではアメリカの一ヶ年ゴム消費豫想は四十萬五千トンであつたものが一月乃至十一月に於て既に四十一萬トンを消費してゐる。

◆さて新年はどうなるであらうか産地の滞荷處分に伴ふ一時的壓迫は幾分あるとしても、需給の大勢から云ふと必ずしも悪くない。

昭和三年十二月廿三日 卅一日發信

一九二八年の國際經濟界回顧

生絲

景氣—贅澤—生絲—
聯想の糸はこの三者を結びつける。生糸を輸出の大宗とあがめたてまつつてゐる日本としては無理のないところである。今日世界中で一番景氣の好い、一番金のある國はいはずとされたアメリカ。従つてアメリカは日本の生糸にとつては随一のお得意であり、年額七億圓から十億圓ぐらゐる生糸を買つてくれる。一九二八年に於ても一月から十一月までに既に約四十六萬九千俵、價格にして七億圓近くを買つてくれた。

この一、二寸のお得意の懐工合をうかがつて見よう。信頼すべき最近の数字が見當らぬのは遺憾であるが、アメリカ現在の國富は内輪に見積つても四千億ドルは缺けまい。一九二五年の國勢調査では三千五百五十億ドルと計算されたのであるから以來打續く好景氣を勘定に入れると或は五千億ドルに近いかも知れぬ。

次に國民一ケ年の總收入であるが一九二七年までは大體次のことき消長を示してゐる。
(アナリスト誌所載)
一九一九年 六五、五〇〇、〇〇〇千ドル
一九二〇年 五五、〇〇〇、〇〇〇
一九二一年 六〇、九〇〇、〇〇〇
一九二二年 七二、四〇〇、〇〇〇
一九二三年 七〇、〇〇〇、〇〇〇
一九二四年 七三、五〇〇、〇〇〇
一九二五年 七四、九〇〇、〇〇〇
一九二六年 七三、〇〇〇、〇〇〇
一九二七年 七三、〇〇〇、〇〇〇
これら一九二八年にはウンと増

えてゐるにちがひない。これは十一月十一日發表された一九二七—二八年度の所得稅徵收報告によつてもうかゞはれる。即ち課稅標準となつた所得額中年收百萬ドル以上のものが二百八十三名に達しアメリカ初まつて以來のレコードであると共に前年度より一躍五十二名も増加したさうである。年收三千万乃至五千万ドルのものは無慮三百二十萬人に及んでゐる。

右の如く多額の收入のある人達はさて置き一般労働者はどうか。これも其の收入が次の様に増してゐる。一九二八年はアメリカの主要産業の筆頭たる自動車工業が未曾有の繁榮を極め、其他の諸工業も概ね好況であつたから賃銀労働者の懐も一層温かくなつてゐる筈である。
(二十五産業従業員平均賃銀)
一九二四年七月 一時間當り 實際收入 一〇〇
一九二四年七月 一時間當り 指數 一〇〇
一九二五年全 〇九六
一九二六年全 〇九六
一九二七年全 〇九六
一九二八年全 〇九六

物が必要品化してゐるアメリカでもあまりに相場が高くなつたり、又一高一低定めなく浮動したりしては買手は二の足を踏まざるを得なくなる。而して價格變動の少い而も或る程度まで純絹の代用をなし得る人絹の方が賣れるやうになる。又絹製品製造業者にしても原料相場の動搖がはげしければ安んじて製造が出来ない。そこで絹物の需要を促進し生糸の消費を増加せしむるには(一)景氣の好い事は無論必要なが、(二)相場の安定といふ事も缺くべからざる要件である。

ところで一九二八年に於ける生糸消費高は新記録の多額に上つたがこれは一九二八年が右の二要件を兼ね備えてゐたためである。景氣のよきことはいはずも、第一の相場安定といふ點に就ても一九二八年はエクストラ高値五ドル二十二セント(十月)、安値四ドル五十セント(七月)と非常に開きが狭かつた。その上相場そのものが一時過去の最安値まで下押ししてゐた。その最も安かつた七八月頃は人絹の賣行きが目に見えて減つたさうである。何故相場がこんなになつたかといふにそれは日本の春繭收穫が四億一千万封度と一九二七年に比べ三千萬封度の増收を示し實勢的に押されたところへ爲替關係が手傳つたのである。爲替と生糸相場、生糸消費高、蓋しこの三者は密接不離の關係を持つてゐるのである。

▲アメリカ生糸統計(單位俵)
(アメリカ絹業協會調査、この内八割は日本生糸である)
一九二一年 輸入高 三、四九七
一九二二年 三、九七〇
一九二三年 三、〇〇〇
一九二四年 三、七〇五
一九二五年 四、九六三
一九二六年 五、四三〇
一九二七年 五、三〇二
一九二八年 五、七〇〇

小麦

世界小麦界の大勢を相場の上からみると一九二八年は初め好調を示したがその後は芳しくなかつた。シカゴの相場足取りを見れば四月までは昂騰の一路をたどつたが五月以後は逆に低落し八月には一時一九二四年以來の安値にまで引落してゐる。尤も九月からは稍や回復歩調に轉じてゐるがそれも甚だ遅々たるもので未だ年初の値まで引返すには至つてゐない。

然らば年初の數ヶ月に相場が昂がり、次いで一轉して大反落となつた原因は何かと云ふに、極く大掴みに云へば、それはアメリカ小麦の作柄が初め懸念されてゐたのがその後豫期に反して大增收となり更にアメリカの春小麦やカナダの春小麦が何れも大豊作を示した爲めである。

元來小麦は世界的産物で殆んど孰れの國にも産出するが自國の消費を充たし、而して大量の輸出を行ひ得る國はアメリカ、カナダ、アルゼンチン、オーストラリアの四國、即ち小麦生産國のビッグ・フォアと稱せられる國々だけで、其他の諸國は生産と消費とが先づ一杯々々か若くは自國産だけで足らず外國から輸入を仰がねばならぬものが多いのである。殊にヨーロッパ諸國は然りである。従

つて右に挙げたビッグ・フォアの豊凶は市價に頗る重大なる影響を持つのであるが就中アメリカ及カナダはこの程度が著しい。蓋しアメリカの小麥輸出餘力は年額三億ブツセル以上、カナダは四億ブツセル以上、アルゼンチンの二億ブツセル未滿、オーストラリアの一億ブツセル未滿に比して遙に大きいからである。

アメリカ及びカナダは北半球に屬し、アルゼンチン及びオーストラリアは南半球に位する。従つてその播種期、收穫期が丁度反對になる。北半球では先づ冬小麦が十月頃から播いて六七月に刈り、春小麦は四、五月に播いて七、八月に刈る事になつて居る。又南半球では大體五、六月に播種し、十月乃至二月に刈入れを行ふことよ。

ところが四月までの期間は丁度アメリカ冬小麦發育の初期に當り濕氣が充分で、而も比較的暖かな天候を必要とする。然るに一九二八年は濕氣が不足で且つ寒氣が酷しかつたり、いろ／＼と面白くない條件が續き、四月一日にアメリカ農務省が發表した作柄豫想の如きは六割八分八厘と過去數年來の不作を示した。當業者も一般に減收見越しとなつてゐた。これが四月までの相場昂騰の原因であつた。

に經過し刈入期たる六、七月は申し分がなかつた。又春小麦にしては播種期の五月が天候適順で而も病菌其他の被害も少く極めて順調なる收穫を得た。一方カナダも近年稀れに見る豊作でアメリカ、カナダ併せて左表の如く約四十億ブツセルも穫れることとなつた。相場が奔落したのは自然の成行きであつた。

▲アメリカ農務省十二月十四日發表
單位は千ブツセル
冬小麦 一九二八年 二七、七〇〇
春小麦 一九二八年 三、八〇〇
合計 三一、五〇〇
一九二七年比較 二七、〇〇〇
一九二八年比較 三、五〇〇
▲カナダ統計局十一月十三日發表
單位は千ブツセル
冬小麦 一九二八年 二七、七〇〇
春小麦 一九二八年 三、八〇〇
合計 三一、五〇〇
一九二七年比較 二七、〇〇〇
一九二八年比較 三、五〇〇

▲なほ十月頃から相場が稍や持直して來たがこれは一、農家が安値賣り澁りの態度を執つてゐること、二、輸出需要が比較的活潑なこと、三、カナダ小麦の品質が悪いことなどによる。しかし近く南半球の新麥が大量の出廻りを始めると相場も實勢的に相當の動搖を見せることにならう。アルゼンチンの收穫は目下盛に進行中で未曾有の豊作と見込まれ輸出餘力も二億二千万ブツセル(前年度は一億八千万ブツセル)と豫想される。又オーストラリアの小麥も收穫一億五千万ブツセル、輸出餘力一億ブツセル(一九二七—二八年度は七千九百萬ブツセル)によるべしと見られてゐる。

○本誌定價一部金一圓(半ケ年)廿六週分 郵稅共金貳拾圓

發行所 大阪市東區北濱五丁目十二番地

新聞聯合社大阪支社

電話本局二二〇〇番三三四〇番 振替貯金口座大阪六八〇〇番

編輯發行兼印刷人 東川嘉一